

補助事業番号 21-2-008

補助事業名 平成21年度高齢者生活共同運営住宅（高齢者生き生きグループリビング）  
の建築整備補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 てのひら

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

高齢者福祉の向上を図るために、高齢者生活共同運営住宅（高齢者生き生きグループリビング）を建築整備し、もって社会福祉の増進に寄与する。

生活に不安を抱える独居高齢者が、地域でお互いの自主性を尊重した共同生活を営むことにより、生涯自己実現を図りつつ、健やかに老いることを目的とする。

### (2) 実施内容

上記目的を達成するため、下記の施設を建築整備する。

高齢者生活共同運営住宅（高齢者生き生きグループリビング）定員7名

実施場所	高砂市荒井町小松原1丁目15-10
建 物	鉄骨造り 3階建て 1棟 413.14㎡
特殊付帯設備	暖冷房設備 エレベーター設置 下水放流 スプリンクラー設備 火災緊急通報装置
入居者の個室面積	25.02㎡、25.61㎡ (トイレ、洗面台、ミニキッチン、クローゼット)
共用部分	食堂、キッチン、浴室、共通トイレ、アトリエ、その他

## 2. 予定される事業実施効果

老後の生活に不安や不便を抱える独居高齢者の方々が、身体的な健康を維持しながら、家族に近い人数での共同生活を営むことにより、健やかに老いることが出来る。

要介護状態になるまでの期間を本来より5年以上、できれば可能な限り伸ばせるという効果を期待している。

これからの長い老後を、人とかかわりながら、退屈せずにおもしろく過ごしていける。また、常に不安を抱える高齢者も、家族から自立し、安心して暮して行くことが可能になる。

元気な間はいいけれども、夜に何か起これば心配だと思ふ高齢期の一人暮らしの生活

も、屋根の下に仲間と過ごせる安心があるという暮らしに変る。

どんなに高齢になっても、ただ、住んでお世話をしてもらっただけの生活ではなく、みんなが助け合ったり、時には言い合ったり、昔の長屋住まいのような、そんな「暮らし」に重点をおくことで、元気を分かち合いながら生活することができる。

以上のような生活スタイルが実現できるモデルハウスとなりうる効果が非常に大きい。



施設ではなく、住まいです。

地域の中で、社会と常に交流を持ち、自分の意志で、自由な生活を心豊かに送ることができます。





### 1階リビング

知人やご近所の方も一緒に寛いでいただける、ゆったり落ち着いた雰囲気です。



玄関廊下 左 アトリエ 右 リビング



1階浴室 広々としています。でも、衛生面を考えて小さな浴槽を二つ並べました。



1階 アトリエ



2階 共有ルーム（浴室あり）

夕食後、みんなでテレビを見たり、おしゃべりしながら、階下に行かなくても、ここで入浴を済ませることができます。ゲストルームを兼ねています。



居室 2-A、3-A

ゆったりとしたお部屋です



居室トイレ

バリアフリー、操作ボタンも見やすいよう大きく

3. 本事業により作成した印刷物等  
なし

#### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : NPO法人てのひら (トクテイヒエイリカツドウホウジン テノヒラ)

住 所 : 676-0011

兵庫県高砂市荒井町小松原1丁目17-3

代 表 者 : 理事長 石原 智秋 (イシハラ チアキ)

担当部署 : 事務

担当者名 : 石原 智秋 (イシハラ チアキ)

電話番号 : 079-442-9161

F A X : 079-442-9162

E-mail : [tenohira@khc.biglobe.ne.jp](mailto:tenohira@khc.biglobe.ne.jp)